

京都府元気印(中小企業応援条例に基づく認定制度)認定企業のご紹介



「京都府中小企業応援条例に基づく認定制度」において認定を受けた株式会社TOKOの代表取締役 安藤 豪氏に、新物流センターで食品の製造・加工を受託する新規事業について伺いました。

株式会社TOKO

<https://toko-kyoto.co.jp/>



食品の梱包・包装から出荷・配送まで 物流を総合的に担い、成長

当社は2003(平成15)年に設立し、現在、お客様の商品の仕分けから梱包、宛先・賞味期限などのシール貼付、包装・フィルムによる密封(シュリンク包装)、配送まで、物流に関わる業務を一括して請け負う事業を展開しています。

創業時から食品を主要取扱商品とし、冷凍・冷蔵・常温の3種の倉庫を備えて徹底した安全・品質管理体制を整備しているところが当社の強みです。店舗などに食品を配送する他、ギフト・通信販売を請け負う業務にも事業を拡大し、業績を伸ばしています。

「ピッキングだけでなく、製造まで請け負ってほしい」。お客様からそうしたお声をいただいたことが、事業拡大を考え始めたきっかけでした。当社が製造機能を持てば、お客様の物流のさらなる効率化が可能になることに加えて、トラック輸送によるCO₂排出削減にも貢献できます。一方、当社においても、受注量の増加に伴い、物流センターの新設を計画していました。そこで物流事業の拡大に加え、新たに食品の製造事業を立ち上げることを目指し、「京都府元気印中小企業認定制度」の認定を受けました。

スイーツ・惣菜のOEM生産とともに 食品以外にも取扱商品の拡大を目指す

新規事業では、既存のお客様からスイーツや惣菜などの製造・加工を受託し、原材料の保管から製造・加工、物流まで一貫したOEM受注体制を構築します。まずは食品加工業務を小



2020年1月に竣工した新物流センター

ロットで請け負うことから始め、徐々に大量生産の受注にも対応できる体制を整えていく計画です。いずれは百貨店や大型量販店などのお客様と共同でオリジナルのスイーツや惣菜を開発・製造・供給したいと考えています。2020(令和2)年1月、新物流センター(京都南センター)が竣工し、今秋の食品製造業務の開始を目指しています。

今後は、冷凍・冷蔵倉庫を保有している強みを生かし、基礎化粧品や生体材料などの医療関連の品物など取扱商品を増やしていくことを考えています。事業継承に向けて後継者の育成も着実に進めている今、将来を見ずして新たな取り組みに挑戦し、さらなる発展を遂げていきたいと考えています。



後継者である
統括センター長の
安藤 宏宣氏

Company Data

- 代表取締役/安藤 豪
- 所在地/本社：京都市南区吉祥院西ノ庄西浦町14-24
京都南センター：京都府綴喜郡宇治田原町郷ノ口東谷48-3
- 電話/075-604-5550(本社) 0774-39-8823(京都南センター)
- 事業内容/倉庫内作業及び商品管理業務、ギフト及び通信販売商品の出荷に関わるすべての業務請負、生鮮食品・京野菜等の卸、及び販売、貨物利用運送事業に基づく配送請負